令和3年度 温室効果ガス排出量の公表について

1. 市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量

【市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量】

14,976 t-CO₂ (令和3年度実績)

【内訳】

①温室効果ガスの種類別排出量

温室効果ガスの種類	単位	基準年度 (平成28年度)	令和3年度
二酸化炭素(CO ₂)	kg-CO ₂ 換算	13,940,473	14,641,824
メタン(CH ₄)	kg-CO ₂ 換算	32,777	23,012
一酸化二窒素(N ₂ O)	kg-CO ₂ 換算	319,980	309,220
フロン類(HFC)	kg-CO ₂ 換算	2,516	2,399
温室効果ガスの合計	kg-CO ₂ 換算	14,295,745	14,976,455

②部門別の温室効果ガス排出量

		平成28年度 合計(kg-CO ₂)	令和3年度 合計(kg-CO ₂)
1	市長部局 (環境部、上下水道部除く)	1,001,035	974,162
2	教育委員会部局	883,187	795,083
3	環境部	11,603,276	12,508,940
4	上下水道部	808,246	698,270
	合計排出量(kg-CO ₂)	14,295,745	14,976,455
	合計排出量(t-CO ₂)	14,296	14,976

※端数処理により、合計が一致しないことがあります。

2. 削減目標の達成度

【 削減目標 】

温室効果ガスの排出量を令和4年度(2022年度)までに、

3%削減する。【平成28年度比(2016年度比)】

	基準年度	実施期間				
	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
t-CO ₂	7,307	7,658	8,499	7,426	7,919	
平成28年度比増減量		+351	+1,192	+119	+612	
		4.8%増加	16.3%増加	1.6%増加	8.4%増加	
						目標
						7,088
						-219
						3%削減

※計画に基づき、一般廃棄物の焼却等に伴う温室効果ガス排出量(平成28年度:6,989t-CO₂、平成30年度:7,505t-CO₂、令和元年度:8,053t-CO₂、令和2年度:7,393t-CO₂、令和3年度:7,057t-CO₂)については、対象外とします。

【令和3年度の温室効果ガス排出量】

- ①市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量: 14,976 t-CO₂
 ②一般廃棄物の焼却等の温室効果ガス排出量 : 7,057 t-CO₂
 ①-②= 7,919 t-CO₂

○温室効果ガス排出量増加の理由

令和3年度の温室効果ガス排出量が増加した主な原因として、環境部におけるグリーンパークごみ処理施設の延べ運転日数の増加が挙げられます。グリーンパークの延べ運転日数は、平成28年度は281日であったのに対し、令和3年度は314日と大幅に増加しています。理由は、ごみ焼却処理に伴い発生する一酸化炭素の濃度を抑制するための、ごみ焼却量を調整する頻度と、処理困難物等の不適物の除去作業のために焼却炉を停止又は調整する頻度が増加したためです。それに伴い電気使用量と灯油使用量が増加しました。